

「志賀原子力発電所における入退出管理システムを用いた職業被ばく線量の管理」
Takeshi Masaki, 北陸電力（日本）

日本の原子力発電所においては、職業被ばく線量管理は、放射線防護コンピュータシステム及び入退出管理システムを用いて、各作業及び各個人に対して実施されている。入退出管理システムは、各放射線作業員の入室時の線量を読み取り、それをリアルタイムで放射線防護コンピュータシステムに伝える。放射線防護コンピュータシステムは、線量を把握し、それが管理レベルを超えているかどうかを判断することができる。

本ペーパーは、志賀原子力発電所における入退出管理システムを用いた職業被ばく線量の管理について紹介している。